

## 令和4年度4月 第1回 地域連携部門研修会 報告

日時：令和4年4月21日（木） 19：00～19：25

場所：ZOOMにて

出席者：院内薬剤師 11名、院外薬剤師 14名

令和4年、第1回地域連携部門研修会は、「横須賀薬剤師ネットワーク～横須賀共済病院の連携の取り組み～」をテーマに開催致しました。4つのセッションに加え最後に質疑応答に関するもまとめましたのでご覧ください。

### 1、研修会について

- ・昨年度は計10回の研修会を実施
- ・第4週目の木曜日に今後も実施予定
- ・当院HPに毎研修会ごとの報告書を随時アップ
- ・今年度は昨年度のアンケート結果を参考に研修会を実施予定

### 今後の予定として・・・

- ①「トレーニングレポート」→事例紹介・照会・検討会
- ②「吸入療法」→デバイス等のピットホール・実技指導・処方提案
- ③「糖尿病」→インスリン指導・副作用回避指導
- ④「疑義照会簡素化」→プロトコル締結に向けて
- ⑤「アンケートより」→麻薬・化学療法・腎臓・小児・眼科  
などを検討

### 2、トレーニングレポート

主治医が知らないであろう有益な情報を含む報告をありがとうございます！

非常に多くの報告を頂いておりますが、現状としては糖尿病薬に関する報告書や入退院に関する報告書の件数が少ない状況・・・→今年はこちらを増やしていきたい！

それぞれの報告書のポイントとして・・・

★服薬情報提供書：主治医の処方意図と患者の考えにギャップが生じている場合に活用。

副作用、コンプライアンス不良、患者の訴えなどから問題点をうまく抽出して処方提案。

★吸入報告書：実薬・模擬デバイスにて定期的に評価、患者への適切なデバイスを医師へ提案。

夏目先生からも薬剤師視点の意見に従うべきだとお話があり、

→薬剤師主導で更なるデバイス変更提案に活用。

★糖尿病報告書、訪問指導、入退院報告書→退院時サマリー：退院後の副作用・調剤方法など具体的に記載。

→診療報酬改定の観点からも、今後どのように活用していくか検討していく。

### 3、診療報酬改定 ～令和4年度～

#### 改定のポイント

##### ★糖尿病患者に対し調剤後の状況確認等評価拡充&シームレスな薬剤師間の連携

インスリン等糖尿病治療薬の調剤後に電話等で服薬状況や副作用等を確認し、医師に結果を報告することなどの評価を拡充。

また、連携も変わらず継続し、調剤後薬剤管理指導加算が30→60点へ改定したことも含めて今後さらに広めていく方針。糖尿病のフォローアップ用のトレーシングレポートをHPに載せていますので、こちらをご活用頂き、是非当院までフィードバック下さい。今年は糖尿病の勉強会を開催するなど、トレーシングレポートの件数を増やす活動に取り組むためにもご意見があれば地域連携部門までお願いします。

##### ★服薬情報等提供料の見直し&入院時持参薬整理の評価

**新！！ 服薬情報提供料3 50点(3月に1回限り算定可能)**

服薬情報等提供料に関して医療機関からの求めに応じ、保険薬局において入院予定の患者の服用薬に関する情報等を一元的に把握したのち、必要に応じて持参した服用薬の整理を行うとともに、医療機関に対して、当該患者の服薬状況等について文書により提供した場合の評価を新設する。

### 4、本日のまとめ(Take home message !)

今年度は対面での研修会ができるかどうか。

既存の運用見直しや、新たな運用の構築に取り組んでいく予定。

何かお気づきの点があれば地域連携部門に連絡ください。

#### 【Q&A】

Q. 当院部長：現在調剤後薬剤管理指導加算の報告件数が少ないが、何か報告の敷居が高い原因はあるか。

A.N 先生：算定要件として地域支援再生加算の届け出がハードルを高くする原因であった。在宅等の取り組みが必要であったが、算定条件の変更によって今年度からは敷居が下がり、件数増加の可能性あり。

当院薬剤師 K：当院でもハードル下げたい。昨年は無症候性低血糖の講義を行なった。

#### 【最後に】

横須賀共済病院 薬剤部長 小林より

服薬情報等提供料3に関し、病院としては早く提供をお願いしたいと考えている。当院の現状としては、衣笠病院とともにフォーマットの構築を行っていこうと進めている段階である。